

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 奈良県立青翔高等学校 (担当者 野呂直樹、阪田安弘)
2. 講師氏名: Federico SCARONI 博士
3. 同行者氏名: 福村 任生 氏
4. 実施日時: 平成 27 年 6 月 25 日 (木) 15:15 ~ 16:15
5. 参加生徒: 2 年生 39 人、 1 年生 0 人、 3 年生 0 人 (合計 39 人)
備考: (理数科SSHコースの生徒)
6. 講演題目: (英文) Preservation and Renovation in Architecture A comparison between Italy and Japan
(和文) 建造物の保存と再生 イタリアと日本の比較を通して
7. 講演概要:

イタリアをはじめヨーロッパでは教会や遺跡などのモニュメントが今日の都市空間のなかに日本よりはるかに多く保存されてきており、また都市内の住居も中世や近世に作られたものがそのまま現在も使われていることも一般的。これは過去の建造物を修理しながら後世に継承し、更にはそれぞれの時代のニーズに合わせて更新してきたヨーロッパ人の努力の賜物である。高度経済成長期を終えた日本においても、過去の建築物を評価し、現代生活の中で再利用・再活用していくことは重要な課題である。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 50 分 質疑応答時間 10 分
 - (2) 講演方法 プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 同行者によるサポート
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師から事前に送ってもらったレジュメ
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項:

